六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。（原則、毎月第３月曜日に掲載します）

神戸市立六甲山牧場

「ガチンコ蹄鉄投げ」など多彩

神戸市立六甲山牧場では10月以降、多彩なイベントを用意している。

まずは「大人のガチンコ蹄鉄投げ大会」（11日）。子どもに親しまれてきたが、大人たちの「やってみたい」の声に応え「本気の競技」として開催。優勝者にはワインを贈呈する。このほか流鏑馬（４日、25日）もあり、疾走する馬上から的を射抜く一瞬は圧巻。ヒツジたちが競う「特別シープレース」（17、18日、25日）＝**写真**＝は来場者に「推しフラッグ」を無料貸し出し。個性豊かな羊たちの走りを盛り上げよう。いずれも雨天は中止。

牛の乳しぼり体験（毎週土曜、祝日）では、参加者が実際に牛の乳房に触れてしぼる。牛の体温を感じられる貴重な体験を楽しめる。☎078・891・0280

ＲＯＫＫＯ森の音ミュージアム

もうすぐハロウィーン

神戸・六甲山の博物館「ROKKO森の音ミュージアム」は、秋恒例の「ROKKOオータム＆ハロウィンフェア」を催している。11月13日まで。

イベントコンサートルームでは「演奏家のいないオータム＆ハロウィンコンサート」と題し、魔女やファンタジーをモチーフにした作品の楽曲などをアンティーク・オルゴールなどの自動演奏楽器で演奏する。

また、施設内のナチュラルガーデン「SIKIガーデン～音の散策路～」には期間限定でハロウィーンモチーフのフォトスポットが登場する。

秋の植物も見頃。９月はシュウメイギク＝**写真**＝や秋のアジサイ、10月には秋バラやオタカラコウなどで、紅葉は10月下旬頃から。☎078・891・1284

六甲摩耶観光推進協議会

名建築巡るハイキングツアー

六甲山の名建築をハイキングで巡る探訪ツアーが10月15日、29日、11月５日、12日に開催される。雨天決行、荒天中止。参加者を募集している。

六甲山や摩耶山で観光事業を営む企業・団体、行政でつくる「六甲摩耶観光推進協議会」が実施、神戸新聞旅行社が主催する。

午前９時20分に六甲ケーブル山上駅を出発し、ヴォーリズ六甲山荘・室谷邸、神戸ゴルフ倶楽部（外観のみ）、六甲山サイレンスリゾート（旧六甲山ホテル、昼食）、安藤忠雄さん設計の風の教会＝**写真**＝などを巡り、午後４時40分解散予定。

小学生以上が対象。各日定員25人。参加費６千円。実施日の５日前までに要予約。

同旅行社☎078・362・7174（平日午前９時半～午後３時）

根岸真理が案内　山の四季便り

歴史ロマン楽しむ「城攻め」へ

アプリで往時再現、ツアーも企画

新神戸駅近「滝山城跡」　松永久秀ゆかり

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

山城ブームが静かに広がりを見せている。かつては地図を片手に道なき道を探索する、ちょっとマニアックなオジサンの趣味という印象があった。彼らは、山城探索を「城攻め」とか「登城」と呼ぶらしい。

しかし「山城ブーム×登山ブーム」で、「歴女」や「山ジョシ」が参入、各地の自治体も後押しするように登山道の整備を進めており、城攻めのハードルはかなり下がってきた。さらに、スマートフォン（スマホ）を活用する新しい楽しみ方も出てきた。

山岳や自然について書籍を出版する「山と渓谷社」が運営するアプリ「YAMASTA」では、今月1日から来年3月1日まで、西播磨の山城を巡る「城攻めトレッキングスタンプラリー2026」を開催中。

また、現地で在りし日の様子を再現した3D画像を見ることができるAR（拡張現実）アプリ「西播磨の山城へGO」も面白い。佐用町の利神城、相生市の感状山城などに続いて、このたび、六甲山にある「滝山城」が仲間入りした。

滝山城跡は、JR新神戸駅近くに登山口があり、1時間ほどで「登城」できる手軽さが魅力。NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」で、竹中直人さんが熱演した松永久秀が、西摂津支配の拠点にした城ということで、改めて注目されている。

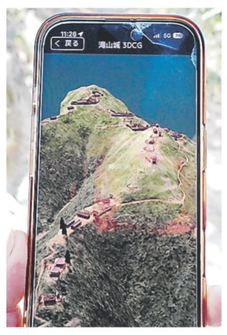
神戸観光局は、特選ツアー「神戸のとびら」の秋の歴史探訪特集の一環で、滝山城跡を訪ねるトレッキングツアーを10月31日に開催する。解説を担当する神戸市文化財課学芸員、東喜代秀さんによると、神戸には多くの戦国城郭が残されているが、古文書に平時の様子が記されているのは滝山城だけという。

その理由について「畿内を支配する政権中枢の政治の場だったから」と説明し、「松永が本拠地にしたのは7年ほどですが、その後築いた奈良の多聞山城では、織田信長の安土城よりも先に、天守の先駆けと言われる4階櫓を建てたことが記録に残っています。滝山城にも天守のプロトタイプ（原型）となるような建物があったかもしれません」と語る。

ちなみに筆者は同ツアーで案内人を務める。詳細は「神戸のとびら」公式サイトで確認を。

六甲山は麓が交通の要衝だったため多くの山城が築かれ、芦屋市の鷹尾城や、神戸市の摩耶山城、再度山・多々部城、有馬・落葉山城などが知られている。

国宝姫路城のように華麗な城郭があるわけでもなく、明石城や洲本城のように立派な石垣が残っているわけでもないけれど、山城跡には独特の風情がある。秋の一日、歴史ロマンを楽しみに、気軽に登れる六甲山で城攻めをしてみては？



▲標高300メートル付近にある滝山城跡

◀AR（拡張現実）アプリ「西播磨の山城へGO」で見られる3D画像＝いずれも神戸市中央区

▶JR新神戸駅の背後には六甲山地が迫っている

▲駅舎のすぐ裏手に滝山城跡への登山口がある＝いずれも神戸市中央区加納町1

総合学部

◆10月のミントサロン「六甲ミーツアートの見どころ紹介」　10月１日19～20時（講演）、20～20時半（懇親会）、ミント神戸18階ミントテラス（ＪＲ三ノ宮駅）。講師は山川佳乃さん（「神戸六甲ミーツ・アート2026beyond」総合ディレクター）＝**写真**。「六甲山でアートを楽しむ」をテーマに豊かな自然、特色のある施設でアートに出会う魅力や楽しみ方を話す。先着45人、要予約。500円。住所、氏名、電話、ファクス番号、年齢を書き、メール（mintsalon@kobe-np.co.jp）またはファクス（078・360・5514）で申し込む。六甲山大学事務局ミントサロン係☎078・362・2983

芸術学部

◆サープレライブ「芸術の秋といえば The Nacometers Live」　10月17日13時、THIRD PLACE ROKKO（六甲山上バス「記念碑台」で下車し徒歩５分）。11時半開場。神戸市在住のミュージシャンNacomiさん率いるバンドThe Nacometersによるアメリカ南部の匂いがするルーツミュージックのライブ＝**写真**＝を楽しむ。定員26人。２ドリンク付、4000円。予約サイト（https://3rdplacerokko.com/20261017event2/）から申し込む。同店☎078・891・0529

環境学部

◆六甲山でバードウォッチング　10月17日10～12時、県立六甲山ビジターセンター集合（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「記念碑台」）。同センターで野鳥や双眼鏡の使い方について聞いた後、センター周辺で実際に野鳥＝**写真**＝を観察する。講師は日本野鳥の会ひょうごの小林由香さん、紀田俊明さん。双眼鏡があれば持参。対象は小学生以上（小学生は保護者同伴）。無料。定員30人（応募多数の場合は抽選）、24日までに専用フォームなどから申し込む（六甲山大学ＨＰにリンクあり）。小雨決行、荒天中止。兵庫県神戸県民センター県民躍動室県民課☎078・647・9094

健康学部

◆ウエルネスウォーキング森林さんぽ〈秋〉　10月24日10～12時、県立甲山森林公園（同園管理事務所前に集合。阪神西宮駅から阪神バス「県立甲山森林公園前」）。甲山の森を五感で感じながら、ノルディックポールを使いながら健康的に楽しく歩く＝**写真**。講師は藤川真司さん。動きやすい服装、運動靴で。両手があくリュックかウエストポーチ、飲料水、タオル、帽子、手袋持参。対象は小学１年生から。大人1200円、高校生以下500円（ポールレンタル料別途500円）。先着20人、団体参加可能。前日までに電話で申し込む。小雨決行、荒天中止。同公園管理事務所☎0798・73・4600

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

王子の森自然学校2026を開催しました！

王子ホールディングス

王子グループは、国内外であわせて約64万ヘクタールの森林を保有・管理しています。王子の森を活用した取り組みの一つとして、小学生を対象とした自然体験型教育プログラム「王子の森自然学校」を2004年から実施しています。

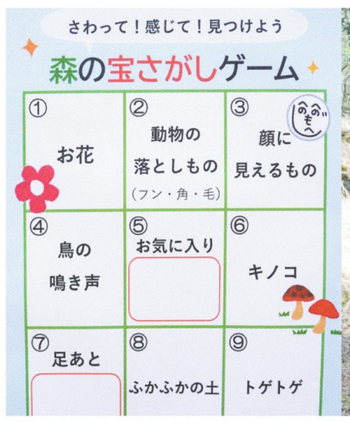
20回目となる今年は、2019年以来となる王子の森での現地開催が実現しました。3月28日、静岡県の朝霧社有林に小学校4・5年生15名を迎え、2つのプログラムを行いました。

1つ目の「ネイチャーポジティブツアー」では、森の中での宝探しを実施しました。参加者は森の中を歩き回りながら、土や動物の様々な痕跡、植物などを観察。森の中という慣れない環境の中でも、次第に五感を働かせ、「あっちから鳥の声が聞こえた！」「これ、鹿の角じゃない？」と次々に発見を重ねながら、森林の多様な機能について学びました。また、水質実験にも挑戦し、雨水や森の土を通って湧き出た水、河口付近の水を比較。森林が育む栄養を含んだ水が海へとつながることで、森が海の豊かさを支えていることを学びました。

2つ目の「きこり体験」では、間伐体験を通じて、健全な森づくりにおける間伐の役割や重要性について理解を深めました。のこぎりを使った作業に苦戦する場面もありましたが、参加者同士で声を掛け合いながら力を合わせて木を伐採しました。木の切り口から漂う切りたてのヒノキの香りに、参加者からは「いい匂い！」と感動の声があがるなど、現地開催ならではの体験となりました。

王子の森自然学校は、未来を担う子どもたちが森林のさまざまな機能や自然のつながりを実感し、環境保全に対する姿勢や思いを育む、貴重な機会となっています。

当日の様子をまとめた動画はこちらからご覧いただけます



↑カードを手に、森の中での宝探しをしました

↑みんなで力を合わせて間伐体験をしました

↑水質実験に挑戦！

わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています

Daiwa House　想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA　六甲山観光株式会社 KOBE Mt.Rokko ART & TOURISM Co., Ltd.

（順不同）

【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　e-mail:info-653@kobe-np.co.jp